

学年	必ず身につけておく能力と資質		看護の基盤となる豊かな人間性や倫理観と教養を身につけている。	看護職として専門分野における学問内容の知識・技術を修得している。	人間の身体的・心理的・社会的な健康状態を科学的に評価し、的確な判断を行う。	人々の健康維持と増進、予防、また健康障害からの回復過程等、全ての健康段階を連続的に捉え、生活に根ざした支援の必要性が認識できる。	リーダーシップを身につけ、自ら多職種と連携・協働することができる。	国際化及び社会の医療ニーズの変化に対応し、生涯を通して自己を高めることができる。
	科目							
4年	看護管理学 / 看護教育学						◎	○
	災害看護論 / 地域精神保健看護論					◎	○	
	コミュニティ政策形成論			○		◎	○	
	感染看護学			○		◎		
	子どもの発達支援論 / 思春期健康論			○	○	◎		
	緩和ケア論 / 認知症高齢者ケア論			○	○	◎		
	クリティカルケア看護論				○	◎		
	卒業研究			○	○	◎		
	在宅看護学実習					◎	○	
	地域看護学実習			○	○	◎		
	統合実習A/B					◎	○	
3年	研究方法					○		◎
	臨床心理学			○	◎			
	医療経済学			◎		○		
	英語講読					○		◎
	疫学				◎	○		
	健康環境論				○	◎		
	生理人類学				◎	○		
	母性看護方法論Ⅰ / Ⅱ / 小児看護方法論			◎	○	○		
	母性看護学実習 / 小児看護学実習Ⅰ / Ⅱ			○	◎	○		
	成人看護方法論Ⅱ / 老年看護方法論Ⅱ			◎	○			
	成人看護学実習A / B / 老年看護学実習			◎	○	○		
	精神看護方法論Ⅱ			◎	○			
	精神看護学実習				○	◎		
	在宅看護方法論Ⅰ / Ⅱ				○	◎	○	
地域看護方法論Ⅰ / Ⅱ			○	○	◎			
2年	生命倫理学		◎		○			
	表現学		◎	○				
	教育学		◎	○				
	保健医療福祉論			◎	○			
	情報処理学		◎		○			
	英語Ⅲ / Ⅳ		◎					○
	人間病態学Ⅲ			◎	○			
	臨床薬理学			○	◎			
	疾病障害論ⅠA / ⅠB / 疾病障害論ⅡB / ⅡC			○	◎			○
	疾病障害論Ⅲ / Ⅳ			○	◎			
	臨床栄養学			○	◎			
	公衆衛生学 / 精神保健論				○	◎		
	基礎看護方法論Ⅲ / Ⅳ／フィジカルアセスメント			◎	○			
	基礎看護学実習Ⅱ			◎	○			
	母性看護学概論 / 小児看護学概論			◎	○	○		
	成人看護学概論 / 成人看護方法論Ⅰ			◎	○	○		
	老年看護学概論 / 老年看護方法論Ⅰ			◎	○	○		
	精神看護学概論			○		◎		
	精神看護方法論Ⅰ			◎	○			
	地域看護学概論 / 在宅看護学概論			○	○	◎		
	家族看護論			○	○	◎		
	地域看護診断・援助論			◎	○	○		
	地域ケアシステム論			○	○	◎		
1年	哲学		◎	○				
	心理学		◎	○				
	石川伝統文化論		◎		○			
	健康体力科学 / フィジカルフィットネス		○			◎		
	フィールド実習 / 情報リテラシー		◎	○				
	法と社会		◎			○		
	社会福祉論 / 家族社会学		◎			○		
	医療人類学		◎			○		
	環境物理学 / 人間工学 / 人類生物学 / 人体生化学		○		◎			
	保健統計学				◎	○		
	英語Ⅰ / Ⅱ		◎					○
	ドイツ語 / 中国語 / ロシア語		◎					○
	人間機能学Ⅰ / Ⅱ / Ⅲ			○	◎			
	人間病態学Ⅰ / Ⅱ			◎	○			
	疾病障害論ⅡA			○	◎			○
	基礎看護方法論Ⅰ / Ⅱ			◎	○			
	基礎看護学実習Ⅰ			◎			○	
	看護学概論			◎			○	
共通	ヒューマンヘルスケア		○		◎		○	
共通	国際看護演習		○					◎
	国際看護論					○		◎